

教科等別年間指導計画

学年	3	教科 目標	運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動にたしむ資質や能力を育てると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。		
教科	保健体育 (保健)	授業 方法 形態	一斉指導 グループ指導 実技指導	先生 から 一言	
月	単元名	単元のねらい、内容	評価規準・方法等	総合的な学習、ことばの教育、 環境教育、情報教育等との関連	時 数
7	健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> 健康は、主体と環境の相互作用のもとに成り立っていること、さらに、病気は主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解する。 健康の保持増進には、年齢生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活が必要なることを理解する。 生活習慣の乱れは、健康を損なう原因となることを理解する。 喫煙、飲酒などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因になること、そのような行為には、適切に対処する必要があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師や仲間と共に活動したり、教科書などの資料を読み、課題について調べることができる。 自分の経験や教科書などの資料、話し合いなどを元に、予想したり、分析したりすることができる。 健康の保持増進には、生活習慣が深く関わっていること、それが主な要因となって起こる疾病やその予防の仕方について理解し、知識を身につけている。 喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響と乱用してはいけないことを理解し、知識を身につけている。 学習したことを元に、日常生活にてはめることができる。 (授業態度・発表・ノート・定期テスト) 	学習プリントや学習ノートへの記入の仕方 教科書やビデオ、資料を活用し、学習内容を記入 資料分析、資料活用能力 自分の考えを伝える発表の仕方の工夫 テーマにそって自分の言葉書く力 資料の活用 データー分析 互いの課題を意識して、アドバイスをしながら教えあう力 学習活動全体を自己評価し、新しい課題を把握する力	10
9	<ul style="list-style-type: none"> 健康の成り立ち 運動と健康 食生活と健康 休養と健康 生活習慣病とその予防 				
10	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 				
12	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙・飲酒 薬物乱用のきっかけ たばこ・酒 薬物に手を出さないために 	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因になること、そのような行為には、適切に対処する必要があることを理解する。 生活習慣の乱れは、健康を損なう原因となることを理解する。 感染症は、病原体が主の要因となって発生すること、また、感染症の多くは、生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解する 個人と集団の健康は密接な関連があること、健康を保持増進するためには、保健・医療機関を有効に利用することが大切であることを理解する。 		10	
1	<ul style="list-style-type: none"> 感染症とその予防(1)・(2) 				
2	<ul style="list-style-type: none"> 性感染症の予防/エイズ(1)・(2) 				
3	<ul style="list-style-type: none"> ともに健康に生きる社会(1)・(2) 				